

からま 議会だより

第64号

■発行 佐賀県鹿島市議会 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314
■編集 議会だより編集委員会 ■印刷 鹿島印刷株式会社

平成23年4月



第1回鹿島市議会 議会報告会

鹿島市議会基本条例の制定により、議会報告会を開催しました。

今回の記事・企画

3月定例会日程と議案	2～3P
議案審議	4～5P
一般質問	6～8P
後期高齢者医療決算報告	8P
特別委員会報告	9P
決議・議長交際費	10～11P
議会あれこれ・編集後記	12P

定例会

三月定例会

平成23年 鹿島市議会

3月定例会会期日程

1、会期

自 平成23年3月1日
至 平成23年3月25日

2、日程

1日・開会

・会議録署名議員の指名
・会期の決定

・議案の括上程

・市長の提案理由説明

・議案審議(質疑)

2日・常任委員会(議案)

3日・休会 議案研究

4日・休会(議案研究)

発言内容通告締切

5日・休会

6日・休会

7日・委員長報告

・議案審議

・質疑、討論、採決

8日・議案審議、質疑

9日・休会 議案研究

10日・休会

11日・新年度予算審査

特別委員会(現地調査)

12日・休会

13日・休会

14日・新年度予算審査

特別委員会

15日・新年度予算審査

特別委員会

16日・新年度予算審査

特別委員会

17日・新年度予算審査

特別委員会

18日・休会(議案整理)

19日・休会

20日・休会

21日・休会

22日・一般質問(3名)

23日・一般質問(3名)

24日・一般質問(2名)

25日・委員長報告 議案審議

・質疑、討論、採決

・閉会

議案

市長提出議案等

(1) 議案第1号 平成23年度鹿島市一般会計予算について

(2) 議案第2号 平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について

(3) 議案第3号 平成23年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について

(4) 議案第4号 平成23年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について

(5) 議案第5号 平成23年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について

(6) 議案第6号 平成23年度鹿島市給与管理特別会計予算

	松田 義太	松尾 勝利	松本 末治	光武 学	馬場 勉	森田 和章	徳村 博紀	福井 正	水頭 喜弘	橋川 宏彰	中西 裕司	谷口 良隆	小池 幸照	松尾 征子	中村雄一郎	橋爪 敏		
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	同意
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	〃	〃

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 除…除斥(議案に利害関係を有するため審議に参加できない)

定例会

- (7) 議案第7号 平成23年度鹿島市水道事業会計予算について
- (8) 議案第8号 鹿島市住民生活に光をそそぐ基金条例の制定について
- (9) 議案第9号 鹿島市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
- (10) 議案第10号 鹿島市母子家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
- (11) 議案第11号 鹿島市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
- (12) 議案第12号 鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- (13) 議案第13号 平成22年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について
- (14) 議案第14号 平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)について
- (15) 議案第15号 平成22年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
- (16) 議案第16号 平成22年度鹿島市老人保健特別会計補正予算(第2号)について
- (17) 議案第17号 平成22年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- (18) 議案第18号 平成22年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
- (19) 議案第19号 平成22年度鹿島市水道事業会計補正予算(第2号)について
- (20) 議案第20号 字の区域の変更について
- (21) 議案第21号 平成22年度鹿島市一般会計補正予算(第8号)について
- (22) 議案第22号 平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第6号)について
- (23) 議案第23号 鹿島市教育委員会委員の任命について
- 議員提案議案等
- (1) 提案第1号 鹿島市議会基本条例の一部を改正する条例について
- (2) 提案第2号 鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
- (3) 提案第3号 鹿島市議会会議規則の一部を改正する規則について
- (4) 決議第1号 東北関東大震災に関する決議(案)
- (5) 決議第2号 TPP交渉参加反対に関する決議(案)
- その他
- (1) 議員の辞職許可について
- (2) 鹿島市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

次のことを審議し決定しました

【3月定例会】

議案第1号	平成23年度鹿島市一般会計予算について
議案第2号	平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について
議案第3号	平成23年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について
議案第4号	平成23年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
議案第5号	平成23年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
議案第6号	平成23年度鹿島市給与管理特別会計予算について
議案第7号	平成23年度鹿島市水道事業会計予算について
議案第8号	鹿島市住民生活に光をそそぐ基金条例の制定について
議案第9号	鹿島市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
議案第10号	鹿島市母子家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
議案第11号	鹿島市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
議案第12号	鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
議案第13号	平成22年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について
議案第14号	平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)について
議案第15号	平成22年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
議案第16号	平成22年度鹿島市老人保健特別会計補正予算(第2号)について
議案第17号	平成22年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
議案第18号	平成22年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
議案第19号	平成22年度鹿島市水道事業会計補正予算(第2号)について
議案第20号	字の区域の変更について
議案第21号	平成22年度鹿島市一般会計補正予算(第8号)について
議案第22号	平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第6号)について
議案第23号	鹿島市教育委員会委員の任命について
議員提案第1号	鹿島市議会基本条例の一部を改正する条例について
議員提案第2号	鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
議員提案第3号	鹿島市議会会議規則の一部を改正する規則について
決議第1号	東北関東大震災に関する決議(案)
決議第2号	TPP交渉参加反対に関する決議(案)

議案審議

議案審議

議案第7号

災害時に敷設された水道管は大丈夫なのか

松尾征子議員

質問 災害のたびに水不足が問題になる。

今、新しい管に変えているということだが、地下に埋められているので地震災害などに耐えられるのか。

答弁 日本水道協会で定

められているのは7・5キロ。7・5キロというのは、消防ホースを持っている三人か四人でつかんでおかないと振られるぐらいの水圧とされます。それくらいまでは大丈夫だということで規定されております。



議案第2号

公共下水道について

徳村博紀議員

質問 5年計画で300

基の浄化槽補助が計画され、年間60基の補助となる。昨年と比較すると補助台数が多くなっている。

そのかたわら公共下水道の整備も進んでいる。

納富分地区の全体計画は元々200ヘクタールで、その中の109ヘク

タールが整備中である。

数字だけ見ると下水道は縮小傾向にあるように感じるが縮小傾向にあるのか、拡大傾向にあるのか、お答え頂きたい。

答弁 平成23年度から見直しに入る。多額の投資については今後難しい部分がある。社会情勢を見ながら検討していきたいと思う。



議案第1号

平成23年度鹿島市一般会計予算について

松本末治議員

質問 税収で法人税収入

が前年並みであるが、市内企業の経営は、(円高禍) どうか?

答弁 大手企業聞き取り

調査での結果の判断である。たばこ税も本数は減だが売上額は前年並みであり税収も前年並計画。市民会館建設委員

会設置もあり、耐震調査(五百万円)が必要なのか?

答弁 昭和四十四年建設で、耐力度調査である。

市民会館は、大型プロジェクトであり、場所の問題、目的は何か、施設はどんなものか将来多額の予算が必要になり大きな課題である。

公正・公平な財政運営を

松尾征子議員

樋口市政初めてのゼロからの予算編成、特に今回は「第5次総合計画」推進の予算といわれる。ただ、「第5次総合計画」は桑原市政時に案がつくられ、それに手が加えられただけのもので、樋口市政ゼロからとはいえない。

公平だと思ふ。特に同和事業は活動費すべてにおいて市費丸抱えです。国はとくに同和事業に終止符をうつている。必要な部分については一般事業でやればよい。

今回評価する分も多々あるがこの事業が改善・終止符が打たれない限り、鹿島市の予算編成に同意することは出来ない。

そんな中でも鹿島駅のバリアフリー化・中学校までの入院費無料化・住宅改良等に対する補助制度など市民の要求に応える努力もされている事については評価をしたい。

依然として改善・終止符が打たれないのが同和事業特に常に指摘している団体補助は最も許せるものではない。

全日本同和団体鹿島支部組織7に対して277万円。部落解放同盟鹿島支部組織3に対して200万円。

たとえば49クラブある老人クラブの活動費に364万4千円。余りにも不



谷口良隆議員

私は、平成23年度鹿島市一般会計予算案に賛成の討論を行う。

低迷の続く鹿島市経済に元気を与えるメッセーとこの5ヶ年の超緊縮財政路線を考慮するならば、新年度予算はいま少し積極予算を期待していた。

しかし、委員会審議等を通して、樋口市政の「新風創造」路線による各種施策が盛り込まれ、今後の施策展開によっての補正要因を持たせており、今後の執行に期待したい。

平成23年度予算に表現された「新風創造」路線の主な事業等は、

- ◎鹿島駅と駅周辺整備計画一年次のスタート
- ◎耕作放棄地活用第一弾事業としての、牛放牧モデル事業へのチャレンジ
- ◎イノシシ忌避剤・誘引剤の研究着手
- ◎ミカンの花の商品開発計画

◎新・市民会館構想の着手
◎埋もれた観光資源開発の着手

◎韓国高興郡との交流を、経済へステップアップさせる構想

などが着目され、その推進に期待したい。

また、三月十一日に発生した東北関東大震災への対応も、緊急策として現年度予算で一定の措置が行われたが、今後の支援策についても柔軟な対応を求める。

前市政の第一次行財政改革大綱で積み残しとなっている、保育所「みどり園」と学校給食センターの民営化構想は、公立であるが故に得られた歴史的成果を過少評価し、歳出削減の論理のみで考えられてきたことに懸念が残る。第二次大綱に入る今、十分な検証を求めたい。

以上の見解と要望を申し上げ、私の賛成討論とす



一般質問

一般質問

市民は待っている



松尾 征子議員

質問一 住宅のバリアフリー

改修工事、太陽光発電・生活排水改善工事に対して、一件10万円の補助金が交付されることになった事業。

既に市民に大きな反響を呼んでいる。予算以上の申し込みがあったら補正を組んでもやるのか。バリアフリーだけでなくすべての増改築にも早急に助成制度の実施を。

答弁 県は住宅リフォーム

助成制度を実施の方向を検討中。今後は基本的に県との連携でやっていく。今回の制度は申し込みが多いため予算内で打ち切り、後は

別の制度で取り組むことになる。

質問二 菅総理は二〇二一年を「平成の開国元年の年」として、TPP参加の最終

的判断を六月という。十一年農水省の予算案の特徴はTPPを視野に入れたものだと言われている。米の関税率七七八%がゼロになり、輸入米が洪水のように国内に回ることになる。国民の大多数はTPP参加には反対。市長はどのようにとらえているのか。

答弁 今回の様な出来事がなければ議論があつたはず。

不可能に近い。我々としては推移を見ていかなければいけない。日本が何か提案して具体的な提案をえられる事は不可能になったのである。

鹿島市の経済対策



福井 正議員

質問一 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が鹿島市に与える影響

世界不況、中東情勢、円高の影響で、不況は鹿島市にも及んでいる。

昨年菅総理が、TPP加盟の検討の発言があつた。加盟した場合、農業だけでなく、商工業、サービス業にも多大な影響があると思われるが、鹿島市の1次、2次、3次産業に与える影響の試算があるか。

答弁 農業に関しては、佐賀県で500億円の減少。

鹿島市は、米6億1千万、小麦9100万、柑橘類1億、牛肉2億9千万等、12億の減少予測である。また輸出関連企業が鹿島市に14社あるが、参加した場合に

は高付加価値工業製品の輸出が増える可能性はある。商業に関しては、1次産業の落ち込みで影響は計り知れない。

質問二 経済対策として、農業の農商工連携としての6次産業化や輸出への取り組み、地産地消の推進など

あると思うが、その取り組みは。

答弁 輸出に関しては、佐賀県が取り組まれているので、日本酒等の輸出を検討したい。

6次産業化については、佐賀県から農業専門家を招致し、取り組みを始める考えである。



鹿島市民の健康・長寿のために



松尾 勝利議員

質問一 鹿島市民が健康で安心して暮らすためには、

まず病気の予防が重要であり、市としても健康診査や健康指導に力を入れておられる。

第5次総合計画でも更なる充実が図られるようだが、具体的な対策は。

答弁 医師会等に協力してもらい、診察データを共有することにより受診率向上に努めたい。

また、広報の充実も図らなければならぬが、従来行なってきた市報や電話、郵送などによる情報に加え、ケーブルテレビなどでも市民に伝えたい。

質問二 諫早干拓の開門調査の実施が確定した。長崎県の開門反対の姿勢を強硬にしている。調査実施に向けた協議が進んでいないが今後の見通しは。

科学的処理をすすめることが必要である。となりの県同士、いがみあつていてはいけなし、判決で期限が区切られているので早期の政治的判断と決断が求められる。



農業問題 有害鳥獣被害対策



水頭喜弘議員

質問一 イノシシ忌避剤開発研究についてはどのように進んでいるのか。

答弁 製薬会社や大学等に相談をしたが、かなり難しい研究ということで受けていただくことができなかったが、しかし、「最後の砦の気持ち」でお願いしたところ、九州大学の2人の先生が研究を受諾していただくことになった。

ただ忌避剤の開発は非常に難しいようである。九大としては忌避剤研究という限定した研究でなく鹿島のイノシシの活動実態の調査を行うとともに、誘引する「囲み込み対策」や「赤外線センサー」を利用した忌避など総合的な研究をすることになっている。

なお4月には、鹿島市の

イノシシ被害の現状を見ていただく予定になっている。

グリーンカーテン事業

質問二 つる性植物を利用することで、熱エネルギーを遮断する効果があり、室温上昇の抑制や二酸化炭素室温の削減も期待できると考えますが。

答弁 平成22年度では鹿島小、能古見小で行なっている。涼しさを感じ学習環境という面でも一定の効果も期待され、今後推奨できれ

ばと思っている。エイブルの図書館でも利用者好評で市民への啓発にもつながっているのでは

と思っている。

「盛年の集い」原点忘れるな



谷口良隆議員

質問 2月13日に開かれた鹿島市主催の第19回「65歳

盛年の集い」に対する市民の批判について、執行部の見解を伺いたい。

当日の開催要領について

も、配布されたパンフレットにしても、特定の人物（前市長）の業績を賛美するかの様な印象が非常に強い構成になっている。本来の趣旨から逸脱している。

その様な苦情が参加者など多くの人から聞かれるが、当局の見解と、改善策を考えているか。

答弁 再びその様な批判が出ないよう取り組んでいきたい。

実行委員会に任せっきりの面、マンネリ化していた面など、反省している。検証し改善を図りたい。

質問 検証途上であるのなら、この時点でこれ以上申すことはできない。検証改善策等が検討された段階に於いて議会へ報告されることを求める。

答弁 その様にしたい。



鹿島市の再生について



中西裕司議員

質問 市の再生は議会及び議員職員市民が心を一つに「営業マン」となり情

報を発信する事がポイント。みんなでもっと前に進もう。第五次総合計画第二次行財政計画が決定し、樋口市長の政治理念信条政策が明確になり、新たな出発（たびだち）だ。

今回の新年度予算にもその事が反映され期待する。ただ市民や議員の提案等がどのように検討され協議されているのか。病後児保育施設の市内設置や陸上競技場サブグラウンドの芝生化や武雄鹿島間道路の高規格問題等課題が残る。早期の解決策が必要だ。

また、くみ取り料金は十数年現状の措置で許可

業者はその対応に苦慮されている。業界の再生は自助努力以上に合特法の課題など山積された総合的な観点から問題解決をすべきだ。対決でなく協調だ。雇用の場だ。ICTとは、単なる行政内部だけでなく地域情報化の課題を。田舎でも家庭は大都会の機能が果たせる基盤整備が必要。地域主権とは。今後国と地方のあり方が変化する。考え方は。

答弁 かしまの総合力で対応。個々の課題は第五次総合計画等で解決を図る。充分な市民への説明責任と協働の精神でまちづくりを進める。



一般質問

「樋口市政に望むもの」



中村雄一郎議員

質問 樋口市長誕生から十一ヶ月が経過し二十三年度予算には新たな提案が盛りこまれた。みんなが住みやすく暮らしやすいまち実現のための予算だと評価する。

- ① 歴史文化を活かしたまちづくりの具体策は。
- ② 国際交流や国内交流に関する考え方について。
- ③ 佐賀県が進める景観法への取り組みは今後どう考えるのか。
- ④ 歴史まちづくり法に取組めば城内地区の点在する茅葺きの整備ができるのではないか。
- ⑤ 観光客をもてなすためには駐車場とトイレ整備は必要。浜宿の現状をどう考えるか。
- ⑥ 浜湯峰地区の雨水対策はどのように進めるのか。

答弁

- ① 先人の組み合わせで歴史観光などテーマを持って取り組めないかと考えている。
- ② 韓国を含め他の国とのルートづくりも必要。国内は幅広く考えたい。
- ③ 鹿島の魅力を活かした行政を市民とともに進めた景観計画をつくりたい。
- ④ 歴史まちづくり法は景観計画が前提で取り組めば可能だと考える。
- ⑤ トイレは必要。地域と共に考えたい。
- ⑥ 地元要望は理解している。浜崎バス停付近とバイパスからの流量の分水は6月までに完了。根本的な解決にはならないので、後は地元と協議を進めていく。



「ちさん、ちしょう」そして地域「鹿島市」活性



松本末治議員

質問一 農林水産業の地域内生産、地域内消費で市内学校給食食材での現状はどのような実態であるか？又、現在政府はT P P「関税自由化」交渉参加を検討しているが、市農産物への影響試算はどうなるか？

答弁 米、温州みかん、もやしは市内産100%、牛乳、苺は県内合計100%、玉葱が季節関連で市内は六月～七月末で9月以降は県外産で七割弱。T P Pでの市内生産減少額は48%と半額になる。米麦は90%以上の減産率の試算であり、T P P参加は断固反対である。

「ちさん、ちしょう」商工、又、人において

質問二

鹿島中心市街地と祐徳門前商店街で昭和60年頃と現在の店舗数及販売金額の推移の変化をお伺いする。又、人において、鹿島生まれで、他市育ちである方でも、鹿島を思い、思いの丈の高い方は大いに活用すべきであろう。

答弁

中心市街地で店舗54%減、販売額で65%減。門前で店舗数25%減、販売額は71%減と甚大です。……鹿島市民みんなが「ちさん、ちしょう」鹿島に生まれた「もの」を良く知り、そして皆で活かす。それが鹿島地域活性化ではないだろうか。新しい鹿島市創生を。



平成21年度 佐賀県後期高齢者医療 特別会計歳入歳出決算書



歳入

市町支出金	1,625,800万円
国庫支出金	3,528,494万円
県 支出金	809,702万円
支払基金交付金	4,148,137万円
特別高額医療費共同事業交付金	619万円
繰越金	300,916万円
繰入金	74,828万円
諸収入	12,908万円
計	10,501,404万円

歳出

総務費	126,106万円
保険給付費	9,891,795万円
県財政安定化基金拠出金	5,803万円
特別高額医療費共同事業拠出金	443万円
保険事業費	7,588万円
諸支出金	159,573万円
計	10,191,308万円

歳入 10,501,404万円 - 歳出 10,191,308万円
=310,096万円は平成22年度へ繰越

報告

平成23年度予算審査特別委員会報告

委員長 小池幸照

去る3月8日の本会議において、本委員会に付託されました鹿島市一般会計予算、公共下水道事業特別会計予算、谷田工業団地造成・分譲事業特別会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、給与管理特別会計予算、水道事業特別会計予算の以上7議案について、3月11日に議案関係7ヶ所の現地調査を行いました。翌週から4日間、市長をはじめ担当部課長並びに担当職員の出席を求め、正、副議長を除く13名の議員による新年度予算審査特別委員会を開催し、慎重に審査を行いました。冒頭に市長より3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の犠牲者や被災者に対し、弔意とお見舞の言葉があり、市の対応と今後の支援対策等についての報告がありました。一般会計予算は、総額

一二〇億五〇〇万円で、經常的経費を極力圧縮し、後年度負担を考慮しながらも、定住促進や子育て支援など重要な政策的事業や、まちづくりのための投資的事業を推進していく第5次総合計画推進型の予算となっています。

また、行政委員会、各部ごとに担当部課長より、予算説明資料により、各会計予算と新規事業や特徴的なものについて説明があり、ただちに質疑に

入り、一七〇項目以上の質疑応答がありました。

質疑終了後討論を経て直ちに採決の結果、平成23年度各会計新年度予算関係7議案は賛成多数で原案のとおり可決されました。

人口増対策特別委員会報告

委員長 中西裕司

前半は定住促進を、後半は交流を課題に調査研究。定住促進の中間報告は終了。神社の参拝客を生かせない。また観光の質の変化で物見遊山から体験型が増加。いわゆるグリーンツーリズムの考え方。市内でも研究会が発足し活動を始動。今後の期待。観光戦略会議等でかしまの観光のあり方を協議中。近く報告書がまとまる。また新規就農者等への助成金制度も予算化された。定住を図られれば。最後に「鹿島市定住促進条例(案)」を起草し市民の判断を受けたい。行政の検討も。

交通体系等特別委員会報告

委員長 松尾征子

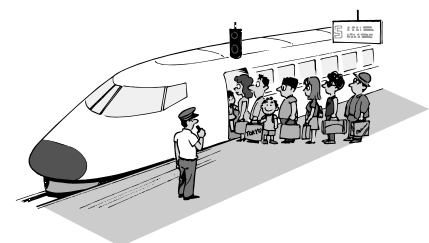
「JR長崎本線問題・有明海沿岸道路・207号バイパス・広域農道の課題を抱えて」委員会の取り組みが始まりました。それぞれ重要な問題である事を認識したが、市民の中で一番広範囲に望まれているのは「交通機関の縮小や、廃止により生活の足が奪われている問題について市民の足を確保する取り組みがいかに急がれているか」という結論になりました。

委員会としてはこの件に重点的に取り組みました。まず、地域の実情を知ることからでした。「休みにバスが来ないのでどこにもいけない」というお年寄り、「病院へ行くのに乗り遅れたら行けない」「不便だから若い人は街に引越す」など特に高齢者からの要求が多く聞かれました。委員会は鹿島市と同じ状況だった地域で住民の足を確保し住民が安心して生活されている先進地に入り研究しました。

鹿島市も財政負担していると言いますが、先進地の足元にも及びません。やはり「市民の生活の足は行政の責任」という立場をしっかりと踏まえて取り組むことが今後の課題であると思います。



バスが来ないのでどこにもいけない」というお年寄り、「病院へ行くのに乗り遅れたら行けない」「不便だから若い人は街に引越す」など特に高齢者からの要求が多く聞かれました。委員会は鹿島市と同じ状況だった地域で住民の足を確保し住民が安心して生活されている先進地に入り研究しました。



決議第1号

東北関東大震災に関する決議

去る、3月11日に発生した三陸沖を震源とする巨大地震は、岩手県、宮城県、福島県を中心とする東北地方と関東一帯に未曾有の被害をもたらしました。

また、地震によって起こった原発事故は、これまでの安全神話を一瞬にして崩壊させ、その地域住民は二重苦に見舞われておられます。

鹿島市議会は、鹿島市民を代表して、多くの犠牲となられた方々とその御家族に対し、深く哀悼の意を表すると共に、被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

また、不眠・不休で救護・救済にあたっておられる人々に対しても、深甚の敬意を表するものであります。

政府・国会におかれては、この国家的危機とも言うべき大災害に際し、一致協力の上、総力を挙げて人命救助・被災者の救援に取り組まれ、被災地の復旧・復興のため、可能な限りの財政支援や立法措置を速やかに講じられることを強く要望いたします。

本市議会は、物心両面でのあらゆる支援を市民に呼びかけると共に、鹿島市の支援策の充実・強化が図れるよう、最大限の努力を払うことを決議します。

平成23年3月25日

佐賀県鹿島市議会



決議

決議第2号

T P P交渉参加反対に関する決議

政府は、昨年11月9日、包括的経済連携に関する基本方針を閣議決定し、この中でT P P（環太平洋戦略的経済連携協定）については、関係国との協議を開始する考えを表明した。

我が国は、既に世界で最も開かれた農産物輸入国であり、食料自給率は先進国と比較して著しく低下している。

関税の完全撤廃を目指すT P Pを締結すると、農林水産省試算では、農業生産4.1兆円減、食料自給率（カロリーベース）は、40%から14%に低下するなど、日本農業は壊滅的打撃を受けることを強く憂慮され、国民の大多数が望む食料自給率の向上に逆行することは明らかである。

佐賀県内においては、農業生産額が約500億円、鹿島市においても12億円余り減少するとの試算がある。

さらに、関連産業や雇用の縮小により雇用は350万人減少し、農業の持つ国土保全や環境維持など多面的機能喪失も3.7兆円に及ぶと言われ、その影響は計り知れないものである。

よって、政府におかれてはT P P交渉への参加は行わないよう強く要望する。

以上、決議する。

平成23年3月25日

佐賀県鹿島市議会

金額単位：円

公表します、
議長交際費。

	10月		11月		12月		合計	
区 分	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
弔 慰	2	30,000					2	30,000
見舞い								
祝 儀			1	5,000			1	5,000
会 費	6	25,000	3	16,000			9	41,000
接 遇								
その他	1	1,400					1	1,400
合 計	9	56,400	4	21,000			13	77,400

議長交際費

議会あれこれ

(平成23年1月～3月)

【1月】

- 11日 議会だより編集委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 21日 全員協議会
- 27日 第200回佐賀県市議会議長会
九州市議会議長会第4回理事会

【2月】

- 1日 全員協議会
議会運営等改革検討会
- 5日 鹿島市議会報告会・記念講演会
- 9日 全国市議会議長会第90回評議員会
- 15日 議会運営委員会
杵藤地区広域圏組合議会事前勉強会
- 16日 広域行政圏市議会協議会第42回総会
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会
定例会
- 18日 全員協議会
人口増対策特別委員会
- 21日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 22日 鹿島藤津地区衛生施設組合議会
2月定例会
- 23日 杵藤地区広域圏組合議会2月定例会
- 25日 議会運営委員会
佐賀県西部広域環境組合議会定例会

【3月】

- 1日 平成23年3月定例会開会
全員協議会
- 2日 文教厚生産業常任委員会
- 7日 3月定例会議案審議(～8日まで)
議会運営委員会
- 11日 新年度予算審査特別委員会(現地調査)
- 14日 新年度予算審査特別委員会
(～17日まで)
- 16日 全員協議会
- 22日 3月定例会一般質問(～24日まで)
- 23日 議会運営委員会
全員協議会
- 24日 全員協議会
- 25日 全員協議会
3月定例会議案審議・討論・採決・閉会
- 28日 杵藤地区広域圏組合議会2月定例会
- 29日 議会だより編集委員会



編集後記

東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この災害を教訓に地域防災の見直しには、しっかりと想定した計画の上で、市民と共に危機意識を高めることと思います。

今期はこの便りで最後となりました。たくさんの方の問題を来期に託し、市民の皆様により一層のご理解とご協力をいただく鹿島市議会にと願っています。

【編集委員】

委員長

馬場 勉

副委員長

松尾 勝利

委員

橋川 宏彰

松尾 征子

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。